

購入のポイント

3冊の違い比較一覧表

書籍名	執筆者	主な使用目的	解説形式／特筆事項
①『フローでわかる 相続土地国庫帰属制 度 一審査担当者から みた申請手続・判断 のポイントー』	法務局支局長 (元審査室長)	審査側の考え方 や運用プロセス の理解による不 承認・却下の回 避	フローチャート＋解 説（66件）：審査担 当者が実際に見てい る実務の「機微」ま で丁寧に解きほぐし て解説。
②『政省令・施行通 達対応 相続土地国庫帰属 制度 承認申請の手引』	弁護士	制度全体の概要 および基本ルー ルの体系的な理 解	Q&A形式（55件）： 制度の基本ルールか ら実務上の疑問点を 幅広くカバー。
③『これで使える！ 相続土地国庫帰属 制度 申請実務マ ニュアル』	土業合同チーム (弁護士・司法 書士・土地家 屋調査士・ 行政書士)	申請に向けた事 前準備、土地の 類型別（5類 型）における現 場対応の習得	記述形式（土地の類 型別）：実務で直面 する個別状況ごとの 代替案（別の買い手 探しなど）について も詳しく言及。

3冊の合わせ買いのメリット



多角的な 実務理解

異なる特徴の実務書を揃えることで、実務上の見落としを 방지、より確実な手続をサポートします。



却下・不承認 リスクの低減

審査側の着眼点や具体的な判断基準を事前に把握することで、申請の差戻しや不意な手戻りを防ぎ、円滑な進行が可能となります。



遺言や 対応力の向上

遺言や遺産分割をはじめ、多様な要因が絡む相続土地案件においても、確かな対応力と説得力を持って臨むための心強い実務書です。